

アフリカレポート

No. 33
2001
September

目次 第33号 (2001年9月)

和崎春日	巻頭言	日本とアフリカを結ぶもの	2
重田真義	エンセーテを基盤とする持続的生業システム——エチオピア起源のバショウ科根菜作物		3
鈴木裕之	セク・トゥレが音楽で目指したもの——ギニア・ナショナリズム昂揚のメディアとして		7
河合香吏	「地名」が繋ぐもの		11
寺谷亮司	モーリシャス——アフリカらしからぬ小国の素顔		16
米田信子	独立ナミビアの教育言語政策		22
稲泉博己	ナイジェリアにおけるキャッサバ加工の現状		27
中村香子	進化するビーズ装飾——ケニア・サンプル社会における「モラン」の変容		32
白石壮一郎	牛略奪と経済自由化とのはざままで——ウガンダ東部、山地農耕民セベイの生業選択		37
瀬谷ルミ子	紛争という日常からの社会復帰——シエラレオネの児童兵		41
小特集 夏期公開講座：アフリカ編			
児玉由佳	エチオピア——対エリトリア国境紛争終結後の政局と今後の展望		45
津田みわ	2002年大統領選挙に向かうケニア——連立政権の発足と日本の援助		50
平野克己	アフリカ農業の国際比較		55
資料紹介			62
アジア研アフリカ通信・編集後記			66

アジア経済研究所

本誌に掲載されている論文などの内容や意見は、外部からの投稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興会あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。